

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
149

発行 2016年3月

- 第4回定例会議結果一覧 ②
- 議会の動き ②
- 一般質問ダイジェスト ③～⑧
- キラリいぜなっ子 ザ・学生II ⑨
- 議員・職員研修会 ⑩

旬の花



オキナワチドリ

**伊平屋・伊是名架橋の
早期実現を求める要請**



平成28年1月14日(木)、伊平屋・伊是名架橋の早期実現に向けて、促進協議会含め総勢40名で県議会議員、県知事へ要請を行いました



平成27年第4回伊是名村議会定例会議決結果一覧

平成27年第4回伊是名村議会定例会は、12月14日から12月15日までの2日間で開催された。本定例会に提案された議案は10件で、一般質問には6人の議員が登壇し村政について質問した。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
議案第60号	平成27年度伊是名村一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出それぞれ5,185千円を減額し、総額をそれぞれ4,257,665千円とする。	原案可決
議案第61号	平成27年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ7,693千円を追加し、総額をそれぞれ301,426千円とする。	原案可決
議案第62号	平成27年度伊是名村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ5,574千円を追加し、総額をそれぞれ81,704千円とする。	原案可決
議案第63号	平成27年度伊是名村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1,748千円を追加し、総額をそれぞれ22,668千円とする。	原案可決
議案第64号	平成27年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ48,685千円を減額し、総額をそれぞれ1,138,780千円とする。	原案可決
議案第65号	伊是名村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関し必要な事項を定めるため	原案可決
議案第66号	伊是名村手数料徴収条例の一部を改正する条例	通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料を規定するとともに、住民基本台帳カードの交付及び再交付が終了することから、手数料徴収条例の一部改正するため	原案可決
議案第67号	伊是名村体験交流観光連携施設の設置及び管理に関する条例	公の施設の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため	原案可決
議案第68号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	沖縄県消防通信指令施設運営協議会を設ける普通地方公共団体から、那覇市、浦添市及び本部町今帰仁村消防組合を減じること及び同協議会規約を変更するため	原案可決
議案第69号	伊是名村税条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、税条例の一部を改正するため	原案可決

議会の動き

平成27年12月～平成28年2月

12月 10日(木) 議会運営委員会
 12日(土) 第23回伊是名村生涯学習発表会
 14日(月) 第4回定例会(～15日(火))
 15日(火) 伊平屋空港建設総決起大会(議長)
 伊平屋村
 27/28年期製糖操業開始式

1月 1日(金) 平成28年成人式・祝賀会
 6日(水) 平成28年消防団出初め式
 議会運営委員会
 13日(水) 伊平屋村新春の集い
 (全議員・局長) 伊平屋村
 14日(木) 伊平屋・伊是名架橋の早期実現を求める要請
 (全議員・局長) 那覇市
 20日(水) 伊是名村新春の集い
 21日(木) 沖縄県町村議会議長会町村議会広報研修会
 (議員・主事) 那覇市
 23日(土) 伊是名村郷友会新年会(全議員・局長)
 那覇市

27日(水) 伊是名村文化財防災訓練
 28日(木) 平成28年度もぐく操業祈願祭

2月 7日(日) 新作組踊「内間御鎖金丸」公演
 (全議員) 西原町
 12日(金) 尚円王生誕600年祭記念
 伊是名村 物産・観光・芸能フェア
 (～14日(日))(全議員) 那覇市
 15日(月) 北部振興会第2回総会(議長) 名護市
 16日(火) 沖縄県町村議会議長会第45回定期総会
 (議長・局長) 那覇市
 17日(水) 沖縄県離島振興市町村議会議長会第7回
 定期総会(議長・局長) 那覇市
 沖縄県離島振興市町村議会議長会研修会
 (全議員・局長・主事) 那覇市
 18日(木) 沖縄県町村議会議長会町村議会議員・事務局職員研修会
 (全議員・局長・主事) 那覇市

Q1 村道内花線及び 城前田線街路灯設置について

Q2 さとうきび種苗浸漬タンク及び 給水スタンド設置整備について



まえだ きよし
前田 清 議員



村道内花線

Q1

村道内花線及び城前田線は、残念ながら起点から終点まで街路灯がほとんどない。当該路線は児童生徒の通学路であり、安全面から街路灯を早急に設置できないか。

A

前田政義村長

ご指摘の村道内花線について現状確認したところ、ソーラー灯が3基設置されているが、故障し点灯してお

ず、修理するにもかなりの費用がかかるということで放置している。しかし通学路でも

あり、特に夜間道路利用者の安全確保の面からその対策は必要だと考えており、設置に向けて検討していく。村道城前田線については次年度事業で照明灯の設置を行う予定となっている。

A

兼元清永建設環境課長

ご指摘の村道内花線については夜間通行時に非常に危険な状況である。本路線は平成12年度から16年度にかけて事業導入により整備済みであり、当分事業を仕込む予定がないことから、道路事業以外での設置が可能であるのか、あるいは村単独事業で設置するのか、各関係課と協議しながら取り組んでいく。大変危険な状況であるのは重々承知している。特に対策を講じてこなかった。大変申し訳ない。早めに対策できるように

Q2

課として精一杯取り組む。

農業振興を図るため次の施設を増設してさらに生産量3万トンを目標としてはどうか。

1. 鳥田原地区に1基
2. 千原地区屋部周辺に1基

A

前田政義村長

施設の増設については、土地改良区ならびに生産組合等との協議を重ねながら取り組んでいきたい。

A

濱里篤農林水産課長

今期のさとうきび製糖操業については1万8536トンの生産量を見込んでおり、生育が順調であることから生産農家の皆さまと共に喜んでいく。さとうきび種苗浸漬タンクおよび給水スタンドについては、現在村内で14カ所設置されており、農家の皆さまにも十分に活用されているが、ご質問の2地区周辺に



浸漬タンク

は空間的な空きがあるということで農林水産課内でも注視している。現在、施設設置に向け可能性調査を行っており、村有地を優先的に探している。農地をつぶさずに設置可能な適当な場所を選定したいと考えている。設置する箇所数については、今後、補助事業での導入も視野に入れて調査を進めている。設置に向け土地改良区、JA等と十分話し合いながら検討していく。



Q 屋ノ下原の計画について



すえよし 末吉 実好 議員

スポーツアイランド交流事業はどうなっているか？



屋ノ下原

Q

前田村長は、場外離着陸場を中心とした屋ノ

下原一帯をスポーツアイランド交流事業としてパークゴルフ場、サッカー競技場等タスポーツレクリエーション交流の拠点施設として整備する構想を計画することだった

A

前田政義村長

が、その後の状況を伺いたい。

平成25年度から場外離着陸場を活用したモータースポーツが実施されており、平成26年度からは一括交付金を活用しながらモータースポーツ大会を誘致支援し、土地の

有効活用を図っている。さらにモータースポーツだけでなく20ヘクタールの土地を多目的に有効活用できる交流施設としてスポーツアイランド構想を打ち出し、構想図を描いている。しかし構想図を基に概算事業費を算出したところ14億円という膨大な事業費になる。今一度事業規模、必要性、採算性、維持管理費について検討する必要があると考えている。具体的には次年度の事業の実施に先立ち、必要な基本構想、基本計画を当初計画に盛り込み、国、県と調整していきたい。

A

神山利和企画政策課長

昨年度、国、県のスポーツアイランド構想について国、県と調整を行ったところ、事業規模、事業費の見直しの必要はないか、14億円の事業費を投資するにあたり、行政効果がでるのかというところを整理しなければ事業化は厳しいと回答されている。新たな



施設を整備するには初期投資、維持管理費などそれなりのリスクも考えなければならぬ。また既存の施設との兼ね合い、運用にあたっての実施体制、採算性がどこまで現実的に可能なのかという観点から計画策定に取り組んでいきたい。次年度の一括交付金での実施が出来ないか、北部振興事業など他の事業での事業化の可能性を検討している。

Q 墓地に関する行政について

各地区に墓地指定を！



みやぎ やすし 議員
宮城 安志

Q 1、村では伊是名地区、仲田地区以外の三地区では霊園指定がないのだが、霊園指定がない地域に指定する考えはあるか。2、現状の点在する墓地周辺道路整備等のメニューはないか。3、村の墓地基本計画策定を望んでいるが、その考えはあるか。

A 前田政義村長

1、これまで本村では個人所有地に墓地が建設されていたため、いたるところに点在し、景観上あるいは土地利用

の面からも課題となっている。墓地の経営主体は地方公共団体が原則であることを受けて平成20年に伊是名山墓地公園、仲田地区内南風原墓地の2カ所を霊園指定し、地域での墓地建設にあたっては集約化が図られてきた。以前から諸見地区から要望があり、墓地公園整備の取り組みをしてきたが、土地取得が難しく実現していない。要望もあることから早急に候補地を選定して指定に向けて取り組んでいく。

A 兼元清永建設環境課長
これまで県の指導で1カ所での集約が望ましいとされてきたため、複数の指定は進んでいない。しかし平成25年4月から墓地等の経営許可等に関する権限が県から村に移譲されたことにより、地域の実情に沿った施策が展開しやすくなったことから、特に要望の多い諸見地区においてはワタシ、サミ地域、勢理客地区においてはカシサイ原地域を念頭に課内で検討している。

A 前田政義村長

2、墓地周辺道路整備等は補助事業がなく、平成10年～11年の伊是名山墓地公園、仲田地区内南風原墓地及び諸見ワタシ地区の墓地周辺道路整備については村単独で実施した。墓地の集約を図る観点からそのための整備を実施していきたい。

3、墓地基本計画は墓地埋葬等に関する法律、沖縄県墓地公園整備基本指針及び村総合

A 兼元清永建設環境課長
本村では墓地基本計画は未策定である。しかし住民の墓地需要や土地需要など住民福祉の向上を図る観点から、本村の実情に沿った適切な墓地行政を推進するための指針を明確に明示する必要があるため、墓地基本計画の策定は早急に進めるべき課題と考えており、県内の先例を参考にしながら早めに制定できるように取り組んでいきたい。

計画等の関連計画に基づき、自治体の墓地施策の基本方針を定めるものである。平成25年4月より墓地等の経営許可等に関する権限が村に委譲されたので、本村の地域特性に応じた墓地施策の策定に向けて取り組んでいく。





Q 観光振興の 景観形成について

南国らしいココ椰子はどうか？



なか だ つよし
仲田 剛 議員



伊是名ビーチ



明地原農村公園

Q

ターシの浜と伊是名ビーチの整備に伴い新たに景観形成の創出を図る必要があると考える。景観誘導策として重点的にターシの浜と伊是名ビーチ、明地原農村公園などの海岸の林帯に周囲の海浜と調和する美しい景観を形成するために、ココ椰子を植樹してはどうか。

A

前田政義 村長

ターシの浜については現在養浜整備中であり、今年中にある程度進む予定だが、残りの部分についても随時整備したいという県の意向があるのでターシの浜で継続していけるよう取り組んでいきたい。伊是名ビーチについては人工リーフを今建設中で

A

濱里篤農林水産課長

あり、完成すると両側から突堤を出し、その後ビーチ整備をする予定である。明地原の農村公園については、来年度県の事業で勢理客漁港における右岸バースが計画どおり着手されれば、並行してビーチの整備もお願いする予定である。やはり議員ご指摘のように植栽に関しても相応しい景観が保てるよう造成しなければならぬ。ご提案のココ椰子も検討したい。

ターシの浜の林帯については、平成19～20年度にかけて、環境防災林整備事業伊是名仲田地区として、沖縄県が事業実施主体となって整備を行っている。現在はモクマオウの古木が景観を損ねている状況にあり、北部農林水産振興センターとの行政懇談会の中においても古木の撤去を要請している。林帯については保安林指定されており、村が直



ターシの浜視察

接整備できない。そこで古木の撤去と同時にこういう植栽ができないものか県の担当部署と協議を行い進めていく。伊是名ビーチでは進行中の漁港海岸整備事業、明地原農村公園の勢理客漁港海岸整備事業を導入して植栽整備も進めていきたい。

Q1 臨海ふれあい公園の 遊具について

Q2 専門医派遣、 巡回診療について



しおひら
潮平そのみ 議員



臨海ふれあい公園

Q1 臨海ふれあい公園の遊具については危険状態であったことから撤去されて久しい。新しい遊具を設置して安全に楽しく遊べる環境を整える必要があるのではない

か。

A 前田政義村長

新しい遊具については、遊具設置そのものの補助事業がないため、老朽化している総合グラウンドの再整備

と併せて、ふれあい公園そのものの整備をしながら、総合的な見地で整備していきたい。

A 前田秀光商工観光課長

再設置については当該遊具等が大変高価なため躊躇しているのが現状である。

村単独費用で設置するには高額な予算が必要で、財政との調整が必要となり時間がかかる。別の角度で考えると臨海ふれあい公園施設全体を再整備

することを目標に、国庫補助事業のメニュー、あるいは一括交付金のメニューがないか検討する必要がある。ただし近年、遊具等の不具合や間違った利用による事故が発生し、その責任を管理者や設置者に問われるケースが増加しつつある。通常の使用で事故が発生

した場合でも責任を問われるケースもあり、遊具選定についても検討が必要である。いずれにしても関係各位と協議しながら検討していきたい。

Q2 伊是名診療所には医師が常駐しているが、専門的診療となると本島の病院を受診しなければならず経済的負担となっている。また高齢者になると移動にも苦慮している状況である。解決策として専門医を呼び、巡回診療を実施してはどうか。

A 前田政義村長

伊是名診療所に常時、各専門医が常駐していることが理想的だとは思っているが、県立病院での医師不足の現状からすると、かなり厳しい状況である。すでに今年度において伊是名診療所の医師との間で、村ではどの専門科目が最も必要なのかなどの調査を進め、沖縄県専門医派遣巡回診療支援で医師派遣事

業での調整を進めている。

A 伊礼正徳住民福祉課長

一括交付金を利用して、本県単年度事業として沖縄県専門医派遣巡回診療支援事業がある。離島地域にあつては専門医受診の機会がないことから専門医を確保し定期的に巡回診療を行い、離島医療の向上を図る目的の事業である。この事業は村内においてどの医療科目が必要か、患者の希望調査等々、村診療所医師との十分な調整が必要となる。次年度に向け、調査を行い、実施可能か検討していきたい。





Q 要介護者のサービス利用について



伊禮 政美 議員

増える認知症の対策は？



Q 本村の要介護者の人数は島内在宅者が27人、特別養護老人ホームチチン園で30人、島外在宅者2人、特養老人ホーム5人、介護老人保健施設10人、有料老人ホーム13人と島外では合計28人もおり、有料ホームは経済的負担が大きい。また島内では後期高齢者の認知症の方々が86人おり、在宅で介護をするとな家族の負担も大きくなる。要介護者の受け入れ施設の整備を含めたサービス利用の長期計画はあるか。

A 前田政義村長

本村の要介護人数は議員の調査の通りであり、年々増加傾向にある。その状況をふまえ、さらに介護施設を村内で増やすこと、また介護サービス利用者の増は、さらなる保険料給付費が増えることも予想される。島外の施設を利用していただく方々を受け入れできる施設を増やす体制についてもきいている。どのような施設が該当するのか、どのようなサービスが必要となるのか等、介護給付費の負担増の軽減策も考慮しながら検討したい。また施設整備となると介護保険広域連合の第7期（平成30～33年度）の介護保険事業計画に盛り込むことが先決となり、最短の対処方法があるのか、今後村内に介護施設運営民間事業者がいるか、既存の施設で受け入れ可能か等々、調整が必要となるので今後検討していきたい。

A 伊礼正徳住民福祉課長



本村では要介護2以上の認定者は在宅の方よりも施設入所者が上回っている。家族の経済的負担から考えると介護老人福祉施設入所が費用は少なく利用できるが、介護も一番高いサービスとなっている。本村の要介護認定率は、平成26年度は28・1%で、全国は18・4%、沖縄県は20%に比べて高くなっている。介護給付費も高い給付となっている。介護給付の一番高い入所施設が拡大し、給付を高くある事も効いていることで、介護保険料が高くなり経済的負担が大きくなる。またそれ

それ施設に入所を希望する方が少ないことも聞いている。そこで、村内で在宅生活を支える対策が必要だと考えている。認知症になっても、介護が必要な状態になっても安心して暮らせる村づくりを行っていかねばならない。介護認定者の原因疾患において認知症が上位を占めており、認知症の人やその家族の支援体制づくりが急務となっている。これまでも要介護状態にならないように健康づくり、介護予防に力をいれてきた。今後とも村民一人ひとりが健康意識を高め、健康長寿村を目指して取り組んでいくことを願いながら頑張っていく。議員ご指摘の地域密着型サービスや認知度対策型共同生活施設等々あるが、取り組むためには計画に位置付けする必要がある。平成30年度以降の実施に向けて実態調査を行い、本村に合った形について検討していく。

文武両道 北部地域の名門 名護高

沖縄県立名護高等学校

3年 兼元 朝香さん(伊是名) 3年 平山 千明さん(伊是名)
2年 潮平 勝洋くん(諸見) 1年 上原 成星くん(勢理客)
1年 棚原みのりさん(勢理客) 1年 名嘉 一樹くん(勢理客)

3年生の兼元朝香さん(字伊是名)は、「名護高に入學して、いいなと思うところは行事が盛り上がることです。体育祭と学園祭が思い出深いです。卒業後は通信制の大学へ進学するつもりです。将来は県外にも行ってみたいと思っています



兼元朝香さん

2月の中旬、沖縄県立名護高等学校へいぜなっ子を訪ねてきました。名護高校は県立第三中学校と県立第三高等女学校を前身にもち、昭和21年に田井等高等学校として開校。昭和23年から名護高校となり、今年で創立88年を迎えます。校是である「文武両道」の真髓を追求し、「知性を研こう感性を鍛えよう 個性を育てよう」の校訓の精神を推進している北部地域の名門校です。

同じく3年の平山千明さん(字伊是名)は「名護高校への進学を決めたのは寮が充実していたこと、大学進学を考えていたので決めました」と進学校である名護を選んだとのこと。名護高校の思い出をたずねると「学校行事なども中学と違って大規模に行われるので毎回驚かされました。辛かったのは進学クラスに入ったので毎日の早朝講座や模試などがたいへんでし



平山千明さん

す」と語ってくれました。伊是名の後輩へメッセージをお願いすると「島から離れるときみしいこともありましたが、親への感謝をしておけばよかったと後悔することがあったので、そうならないよう日頃から感謝の気持ちをもつてほしい」と話してくれました。

2年生の潮平勝洋くん(字諸見)に名護高進学の理由を聞くと「島から近くて、勉強しやすい環境にあると感じました。進学率の高さも魅力です。学校の授業にしっかりついていけていると思っています。学校の雰囲気はフレンドリーでとて



潮平勝洋くん

た。学校のいい所といえば、自然に囲まれた良い環境で勉強できる所です。卒業後は東京の創価大学経営学部に進学が決まっています」と話してくれました。後輩へのメッセージをお願いすると「私が入学した時は、一人も島の先輩がいなくて人が、私の後輩はたくさん入学しているので嬉しいです。もっと増えるといいなと思います」と話してくれました。

1年生の上原成星くん(字勢理客)は、「ソフトテニスが好きで名護高に進学しました。毎日部活漬けですが一日が早くて充実し



上原成星くん

も楽しいです」と話してくれました。名護高には離島出身者向けの寮寮があり、寮生活について聞いてみると「身の回りのことを全て自分でやらなければいけないので大変です」と苦労しているとのことでした。将来は「スポーツ関係、リハビリ等の専門学校へ進学したいと思っています。スポーツ関係の仕事ができたらと思っています」と夢を語っていました。後輩に向けて「自分の夢とか目標のために学校選びは慎重にした方がいいと思います。今、がんばってほしい」とエールを送っていた。

ています」と元氣よく話してくれました。寮については「点呼があつて、時間きつちり、規則正しい生活になっています」と話してくれました。将来については「まだ一年生なので具体的な目標はまだ見えていませんが、大学に進学したいと思っています」とのこと。後輩へのメッセージをお願いすると「自分のやりたいことを見つけて将来を考えて取り組んでほしい」と話してくれました。



棚原みのりさん

1年生の棚原みのりさん（字勢理客）は、「伊是名から近くて寮もあることが魅力でした。部活も盛んで楽しいです。今は女子サッカー部のマネージャーをやっています。勉強の面ではちょっと

苦勞しています」と高校生活を話してくれました。将来については「具体的にはまだ決まっていますが、カフエの仕事にあげられています。その方面の専門学校に進学したいと思っています」と話してくれました。後輩に向けて「今は行きたい高校がきまっていなくても勉強はしっかりしていた方がいいですよ」とメッセージをくれました。



名嘉一樹くん

1年生の名嘉一樹くん（字勢理客）は「名護高校は進学率が高く、勉強、スポーツと文武両道の雰囲気になっていました。とても忙しいですが、楽しく過ごしています。勉強面はもう少し頑張らないと…」と話してくれました。将来について

は「やはり具体的には考えられていませんが、漠然と大学に進学したいと思っています」と話していました。伊是名の後輩に向けて「中学の勉強を頑張つて、基礎学力のアップを目指した方がいいと思います」と話してくれました。



離島振興市町村議会議長会の研修会

2月17日(水)～19日(金)の2泊3日の日程で議員10人、事務局2人、計12人が研修会に参加した。

初日2月17日は、那覇市において、離島振興市町村議会議長会の研修会があり、コモンズ代表、アジア太平洋資料センター共同代表 大江正章氏による「地域に希望あり～ひと・まち・仕事を創る」と題した講演が行われた。



2月18日は同じく那覇市において、町村議会議長会による研修会があり、沖縄県企画部市町村課課長 宮城力氏による「平成28年度市町村予算と行財政運営の課題について」と題した研修会、一旦休憩を挟み、その後、長野県飯綱町議会議長 寺島沙氏による「飯綱町議会における議会改革の前進と議員報酬・定数について」と題した講演が行われた。



編集後記

村民の皆様こんにちは。年が明けて早3カ月が過ぎようとしています。健康に留意されて、今年もお過ごし下さい。今期より広報委員として村民の皆様にご読んでもいただける様な内容に工夫して参りたいと思います。今後とも「議会だより」の愛読をよろしくお願い致します。

編集委員 伊禮政美